

# 夏が来た



## 野外学習会「石灰岩地帯の洞窟・遺跡・化石」 (平成29年5月21日、はれ、32名参加)

豊橋から浜松にかけて分布する石灰岩体にてきた洞窟をめぐる。秩父帯と呼ばれる、日本列島を東西にのびる堆積岩帯の一部になります。

今回は嵩山蛇穴、只木遺跡、根堅遺跡を見学しました。これらの遺跡からは旧石器人の骨が見つかったことで知られていました。

しかし、科学の進歩で牛川人は人骨ではなく、三ヶ日も縄文人の骨と考えられるようになりました。

ただし、浜北の根堅遺跡の人骨は旧石器時代のものようです。この洞窟のあたりで、当時ほとんどなくらしをしていたのでしょう。



## 野外学習会「四谷の干枚田の生きもの」 (平成29年6月11日、はれ、52名参加)

田植えを終えた干枚田での観察会でした。鞍掛山から流れ下る水を水田に引き入れ、お米が作られ、その沢水や水田には様々な生きものがくらしています。田んぼにはタニシやモリアオガエル、沢にはナカシホトケドジョウなどがいます。子どもたちに人気のサワガニもたくさんいます。サワガニは農家の人にとっては大敵で、水田に穴をあけてしまう悪者です。

## 鳳来寺山表参道でも仏法僧鳴く(平成29年6月13日)

ホテル観賞に出かけた地元の方から真増寺の裏の方角の鳳来寺山からコハスブツの音が聞けたと報告がありました。

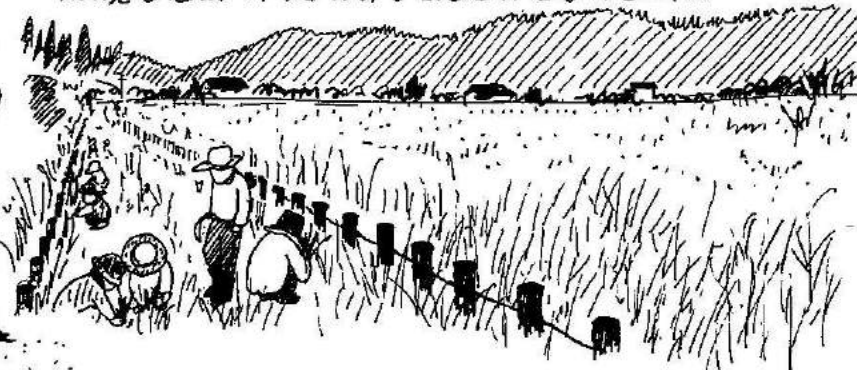
# はつかわのり 191 2017.6

## 学校の博物館利用

- 5月25日 鳳来中部小学校(S23名+T4名)  
作手中学校(S16名+T3名)  
千郷中学校(S34名+T2名)
- 5月26日 東郷中学2年今泉さん職場体験
- 5月30日 西春中学校(S124名+T10名)
- 6月7日 新城中学2年加藤さん職場体験
- 6月19日 鳳来寺小学校(S11名+T1名)  
東郷西小学校(S55名+T3名)

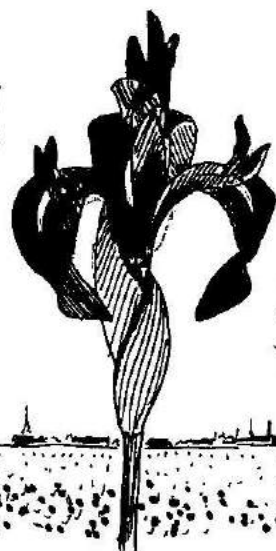
## 長ノ山湿原の保全作業 (平成29年6月4日)

1月31日のレンゲツツジの保全作業に続いて、5月12日とこの日、湿原に侵入するヨシヤスキなどの除去作業を「自然に親しむ会・作手」のみなさんとおこないました。



## 第26回湿地サミットへ参加 (平成29年5月16日、刈谷市)

愛知県内の湿地や湿原を持つ市町が、その保護について検討し、交流する会が行なわれ、参加してきました。小堤西池のカキツバタ群落(国天然記念物)の見学の後、講演と活動報告が4件あり、意見交換がおこなわれました。



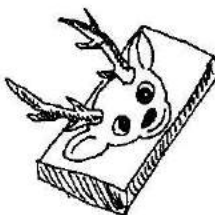
## 学術委員総会・友の会総会 (平成29年4月16日)

午前が学術委員総会、午後は友の会総会でした。友の会では記念講演として学術委員の鳥居孝先生の話がありました。テーマは「足とハンマー」です。郷土の地質を自分の足で歩き、ハンマーで石をたたきながら調べてくれたことがよくわかりました。総会では、会員表彰、活動報告と今年度の計画が発表されました。



## ミュージアムフェスティバル (平成29年5月3日～5月6日)

昨年は新東名の開通でたいへんにぎわいました。今年は落ちついたフェスティバルになりました。宝石さかしは毎回人気ですが、今回はシカ角輪投げに子どもたちが集っていたようです。



## 友の会の「梅雨のきのこに出会う会」 (平成29年6月25日、雨)

入梅後も雨が降らず、空梅雨が続きました。この日ときのこにあまり期待がもてませんでしたが、30名の参加者の60の眼で採った結果、名前が判明したきのこが30種ありました。ツルタケタマシ、チチアワタケ、キタマゴタケやアミスギタケ、カワラタケ、ツチグリなどのきのこです。タマキクラゲやキクラゲもありました。



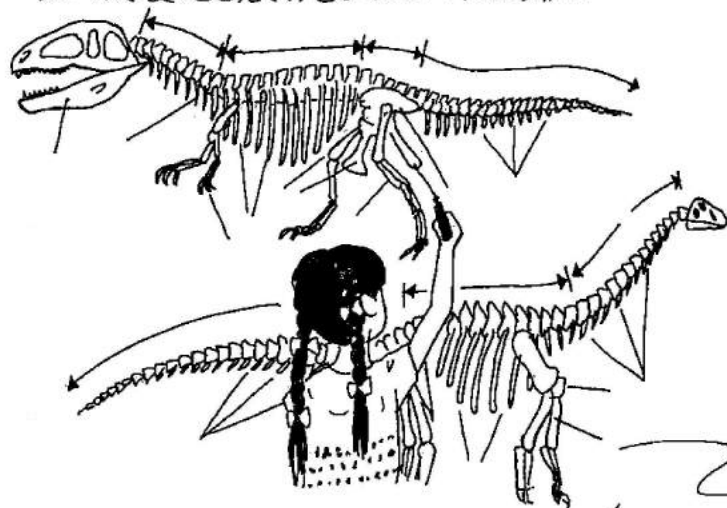
# 夏のできごと

## 子ども&子どもにかえりたい大人の自然講座 「昆虫の標本を作ろう」(平成29年7月30日)

午前は昆虫採集。午後は標本づくりを学びました。標本作成に必要な展翅板を発泡スチロールの板で、まずは自作。虫針を使って翅や足の形を整えて固定します。細かい作業に取り組みました。23名参加。

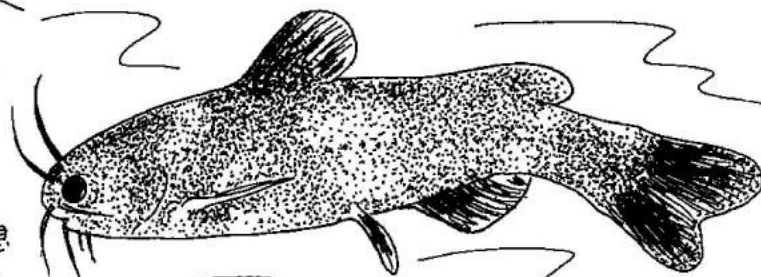
## 「骨で学ぶ動物の進化」(平成29年7月23日)

学習室のまん中にヒグマの全身骨格がドンと置かれました。各々の骨の働きと名称を学び、恐竜の骨とのちがいを変化を見ていきました。14名参加。



## 野外学習会「海老川の生きもの」 (平成29年8月6日 はれ、46名参加)

海老川の支流、旧海老小学校前の谷川で開催しました。今とネコギギが生息する清流です。午前は川の周辺で昆虫類の観察。ウスバキトンボが群れて飛んでいました。午後は川に入って魚や水生昆虫の観察でした。ネコギギもいました!

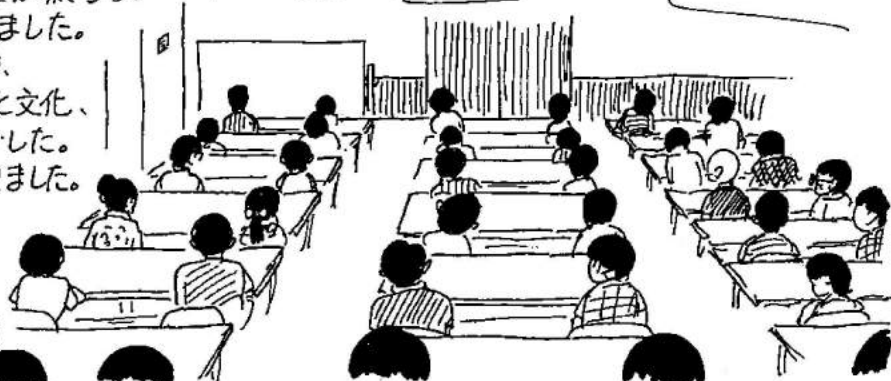


## ジオガイド養成講座 修了試験 (平成29年7月15日 47名受験)

今年の2月から始まった東三河ジオパーク構想ジオガイド養成講座。6回11講座が終了し、この日、修了試験がおこなわれました。

ジオガイドの役割や関連法令、東三河地方の地形・地質、歴史と文化、植生などの中広い内容の出題でした。皆さん真剣に取り組んでくれました。合格者には、修了証が渡され、次の段階としてジオガイド認定講座に進んでいただきます。

東三河のジオパークの顔になる大切な役割をにないます。



## 「動植物のくらしと気候の変動」夏の特別展開催 (平成29年7月20~8月31日)

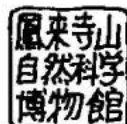
地球の温暖化が言われている中で、今がどのような時代なのかを地球の歴史から見たり、身近な動植物の分布の変化などから気候の変動を考えてみます。

チョウ、フモ、コケ類、植生など、様々な視点で見つめ、パネルで紹介しています。



## 出前講座・ガイド・研修 いろいろやっています。

- 6月17日 梅雨のきのこを探しに行こう(碧南海浜水族館31名)
- 7月6日 JA文化講座「奥三河の大地とその成り立ち」(JA愛知東70名)
- 7月12日 鳳来中部小学校3年生、浅間山の動植物観察(24名)
- 7月13日 庭野小学校5-6年生、ガイドツアー(8名)
- 7月29日 水と森の体感ツアー(豊橋市23名)
- “ 東三河生態系ネットワーク(52名)
- 7月31日 黄柳川小学校5-6年生ガイドツアー(27名)
- 8月2-4日 千郷中学校2年、大久保くん博物館職場体験
- 8月3日 新城市理科教員研修(24名)
- 8月8日 おもしろ実験教室(ちさと館295名)



7月25日からGoogleストリートビューの屋内版をはじめました。ご訪問ください。ただし、本物は博物館へ! 職員も実物で。

はつなだより 16.192  
2017.8

## 鳳来寺山麓でヤマユリ満開 (平成29年7月24日)

例年は7月中旬が見頃です。ホウライジユリの地方名もある名花で、参道沿いにみごとな大輪を咲かせ、濃い香りをふりまいていました。今年は8月初めまで楽しめました。地元の人たちが株を守ってくれているおかげで年々増えています。イノシシとサルが大敵です。





# 学びの季節



## ジオツアー「豊川の源流をたずねる」 (平成29年9月3日、はれ、24名参加)

新城市役所を出発し、設楽町にある源流へ向かいました。標高1,000m付近の本谷橋で源流の様子を観察しました。

澄川と本谷川の合流点や清流公園では、巨大な礫と深い谷を見ながら、地形と地質を学びました。

帰路は豊川の流れに沿って、川の蛇行や流域最大の中州を見ながら下りました。只持では川原において、石の大きさや形、石の種類、地形の変化を確かめました。

## ジオツアー「三河地震の跡をたどる」 (平成29年9月24日、はれのち曇り、23名参加)

昭和20(1945)年1月13日、三河湾でマグニチュード6.8の内陸型の直下型地震が発生しました。三河地震でした。震度は7で、記録では死者1,180人、行方不明者1,126人、負傷者3,866人、家の全壊7,221戸半壊16,555戸、全焼2戸、半焼3戸、その他の被害24,311戸と報告されています。

地震から73年経過した幸田町から蒲郡に続く深溝断層の跡をたどりました。

深溝断層は三河地震によって現れた断層で、約28kmにわたります。今回は県の天然記念物になっている深溝の水田跡から深溝小学校周辺の断層地形、宗徳寺の地割れと断層でできたお寺の段差を見学しました。どこも景色の中にとけこんで、跡をたどることがますますかしくなっています。

三河地震の前年には東南海地震、1年後には南海地震がありました。

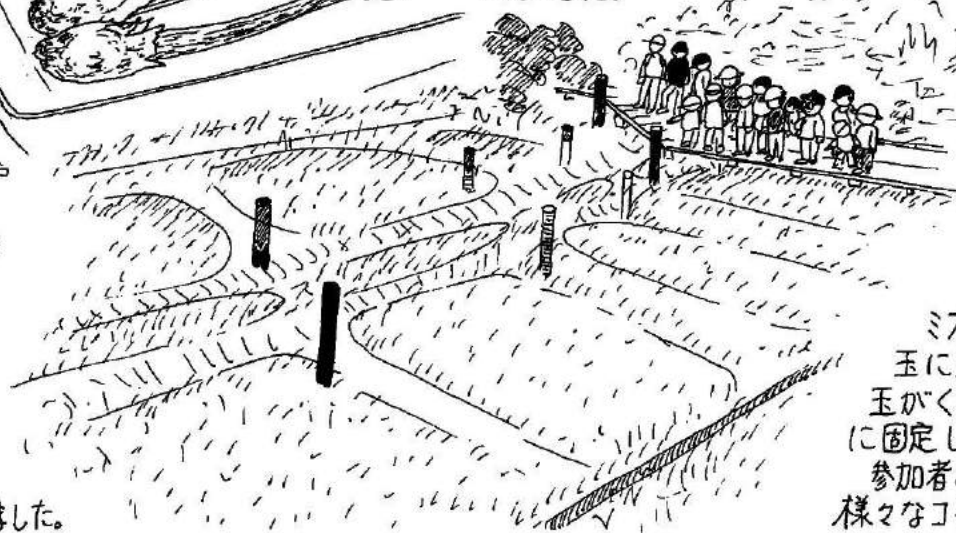
## 雨の日で「山の日」登山中止 (平成29年8月11日、雨)

友の会行事として、山の日に計画していた弱迷山登山。今年は棚山を予定していましたが、雨で中止となりました。ハードなコース設定でしたが、いつか又チャレンジしたいと思います。

## 野外学習会「秋の作手高原のきのこ」 (平成29年10月8日、曇り、46名参加)



作手高原にある鬼久保ひらばでおこなわれました。今年の秋はきのこの発生が少なめです。それでも86種を観察できました。



## ドローン撮影(平成29年9月15日)

作手のB&Gの協力で実現しました。乳岩、馬背岩、鳳来寺山、長篠城址の空撮です。地上からは見られない鳥の目線で天然記念物を撮影できました。展示やジオの資料などに活用します。

## 秋の特別展「きのこ展」 (平成29年9月17日～10月22日)

展示する野生きのこが少なく、さびしいテーブルで開始しました。終ばんになって雨が続き、少し期待しましたが、昨年ほどの発生がありません。状況を心配して、いろいろなか展示用にと持ち込んでくださり、テーブルをにぎわしてくれました。

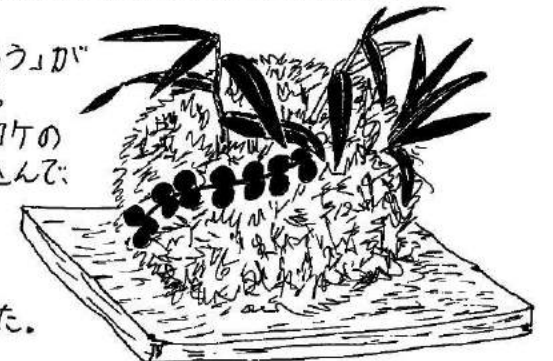
# はつなだり 16.193 2017.10

## 出前講座・研修・ガイドツアー・職場体験

- 8月12日 つくし学園ガイドツアー(3名)
- 18日 鳳来中学校教員研修(15名)
- 19日 ボーイスカウト浜松ガイドツアー(29名)
- 21日 東三河教員初任者研修(69名)
- 21~23日 職場体験、鳳来中学生(1名)
- 26日 水源地見学会(20名)
- 27日 名古屋大学博物館一行「松脂岩」(40名)
- 28日 豊橋東高校ガイドツアー「川原の石-豊川中流域-」(16名)
- 9月5日 名城大学学芸員課程「資料保存論、演習課題」(75名)
- 6日 鳳来寺小学校「オパール」(13名)
- 13日 鳳来東小学校ガイドツアー(15名)
- 25日 設楽町奥三河郷土館一行(4名)
- 10月2日 鳳来中部小学校・星雪組(9名)
- 4日 前芝小学校ガイドツアー(33名)
- 5日 一宮西部小学校ガイド(76名)
- 16日 黄柳野高校プレートス「きのこ観察」(25名)
- 19日 JA愛知東やまびこ大学「秋のきのこの見分け方」(25名)
- 25日 東郷西小学校ガイド(58名)
- 鳳来寺小学校(4名)
- 25-26日 黄柳野高校インターシニア(1名)
- 27日 NPO東海自然学園「身近なホ乳類」ガイドツアー(28名)

## 子どもと子どもにかえりたい大人の自然講座 (平成29年8月20日、はれのち曇り、16名参加)

「コケ玉をつくろう」が今回のテーマです。ミスゴケを芯にしたコケの玉にシダや木を植えて、玉がくずれないように固定します。参加者の好みにあわせた様々なコケ玉が完成しました。





# 博物館の秋から初冬

## 野外学習会「宇連川沿いの紅葉」 (平成29年11月19日、はれ、27名)

宇連川右岸にある望月街道を歩いて秋の植物を観察しました。

三河川合から植原までの別名板敷川の絶景を楽しみながら、紅葉、クモランを見たり、洗柿も味わいました。



## 特別展「東三河の大地からの恵み展」 (平成29年11月1日～30年2月28日)

日本列島誕生2億年のドラマがつまった東三河は、現在、ジオパークを目ざしています。

この特別展では、東三河の大地の魅力が鉱物や温泉といった地下資源や、海、川、農産、酒などの恵みにスポットを当てて紹介しています。展示を見て、実際に現地に出かけて体感してもらうことを願っています。

### らの恵み展



## はつなだり No.194 2017.12



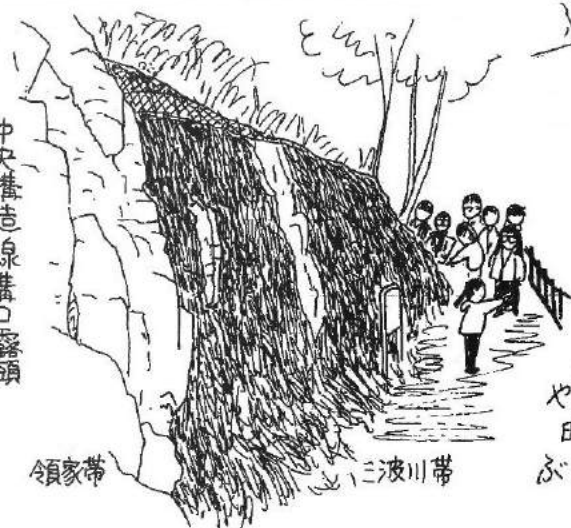
## ナイトミュージアム (平成29年11月18、25日)

鳳来寺山とみじ祭りの千の燈火にあわせて、夜の8時まで開館しました。学芸員による光る石の実演、館長の館内ガイドもあり、昼間とちよつとちがった雰囲気夜の博物館を体験してもらいました。

## ミュージアムフェスティバル (平成29年11月23日～26日)

秋の恒例行事になっている博物館感謝祭です。今年は天候にも恵まれ、また、新東名高速道路、JRさわかウォーキングがあったことも幸いして、昨年以上の来館がありました。何年ぶりかで行列ができました。

中央構造線溝口露頭



領家帯 三波川帯

## 南アルプスジオパーク視察 (平成29年11月8日)

伊那市にある中央構造線溝口露頭の見学をしたあと、事務局の方に運営の様子や予算、ジオサイトの管理などについて話をうかがいました。

## 日本ジオパークネットワーク JGN中部ブロック大会 (平成29年11月19、20日)

飯田市上村でおこなわれました。中部ブロックの正と準会員が集い、各ジオパークのかかえる課題や取り組みなどについて意見交換しました。

## 東三河ジオパーク構想シンポジウム (平成29年10月1日、設楽町、はれ、68名)

糸魚川ジオパークの渡辺事務局長が「ジオパークで地域を元気に!!」、豊橋市自然史博物館の松岡館長が「設楽地域のジオサイト」について講演しました。午後は、津具と田峯の2コースに分かれ、ミニジオツアーを行ない、地元のイベントにも参加しました。

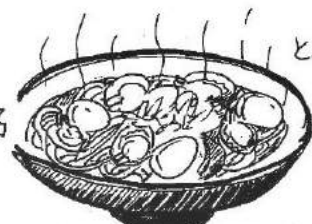
## ジオツアー「渥美半島の地形、地質見学」 (平成29年11月5日、はれ、24名)

渥美半島のつけ根にあたる豊橋市の伊古部と田原市の高松へ出かけました。このあたり一帯は渥美層群と呼ばれる礫、石、泥からなる軟らかい地層で、30万年から50万年の海面の上昇と下降によってたまったものです。太平洋の波にけずられた急な崖で見られる地層には、地球規模の環境変動の記録が残っています。

## 講座、ガイドツアー、出前授業

- 11月2日 千原中文化祭、ちさと文化講座「きのこ」32名
- 4日 浜松ボーイスカウトへガイドツアー、22名
- 6日 鳳来寺小6年生の地層学習、12名+2名
- 22日 生物多様性環境学習バスツアー(県)、38名
- 30日 鳳来寺小総合学習、3名+1名
- 12月6日 鳳来東小3～6年生の出前授業、10名+3名
- 10日 東海市エコスクール、14名+3名
- 11日 新城市商工会「ジオパーク勉強会」11名

## 東三河ジオパーク構想「海・山めぐり蒲郡ジオツアー」 (平成29年11月11日、はれ、33名)



全国ご当地うどんサミット  
2017グランプリ

とよおか湖公園の片麻岩、花崗岩露頭、清田の大クス、オレンジパーク、西浦半島、海鮮市場をめぐりました。蒲郡の大地をつくる地質と地形、そして海、そこから産する幸をまるごと楽しみました。蒲郡みかん、ガマゴリうどん、山と海のめぐりみをお楽しみいただきました。



鳳来寺山  
自然科学  
博物館

# ありがとうアウル号 共に走った19年8ヶ月と2日

フワッポロ  
アウル号

鳳来寺山  
自然科学  
博物館

はつかわさち 20.195  
2018.1

待望の博物館専用車来たる！  
(平成10年5月20日)



仏法僧調査で15年ぶりにコハズクの声聞く！  
(平成11年5月13・14・15日、鳳来寺山高徳)

平成9年からコハズクの生息調査を始めていました。アウル号が来たことで調査活動がしっかりできるようになりました。この年も鳳来町(合併前)を中心に、鳴き声調査に毎晩でかけていました。この日、鳳来寺山としては15年ぶりに鳴き声が確認できました。アウル号が証人です。



きのご展で活躍(毎年開催)

きのご展用の標本採集に山に入ることが、秋になると増えてきます。どんな狭い林道も、荒れた山道もハッチャラで、こまわりはつこんです。



待ちこがれていた専用車がやってきました。軽のワゴン車です。山道や悪路でもアイアイ走れるように4輪駆動車にしてもらいました。コハズクやきのこの調査、岩石や鉱物、地学の調査などに私たちがつれていってくださるたのしい相棒が館の仲間に加わりました。車種名のミニキャブバンから「ミカちゃん」、車体色のシルバーとフワロウから「銀鳥:シルバーオウル号」などと候補があかりましたが、「アウル(鳥)号」の愛称となりました。

コハズクに会ってきました！  
(平成14年6月8日、四谷仏坂)

コハズクの生息調査(鳴き声)は日没後に行ないます。当初は築三河全域で調査を進めていましたが、少しずつ生息場所がしぼられてきました。

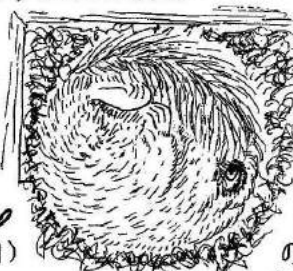
この日は毎年確認できている四谷の仏坂峠に向っていました。もうすぐトンネルというところで、前を横切る鳥影がありました。急停車し、車道にかかる木の枝を見あげると、コハズクが

止まって、こちらを見えています。時間にして1分くらいでしょうか。感動して写真も撮らず、ヘッドライトに浮かぶ姿を見つめました。アウル号と私だけの忘れられない体験です。



健康優良自動車

排気量660cc、48馬力で、坂道は苦しうでしたが、エンジンの故障は一度もありませんでした。大ケガは一度ありませんでした。峠の坂の凍結路面でスリップ。ガードレールにぶつかり、フロントノーズを大きくへこませてしまいました。ごめんさい。



ヤマネコ発見！  
(平成15年3月31日)

宇連ダムの周辺に掛けたコハズク用巣箱の利用状況の追跡調査をしていた時です。砥石川沿いの林道脇の巣箱をのぞきこむと、コケのベッドで冬眠中のヤマネコがいました。鳳来町(当時)で初確認です。ピンポン玉ほどの大きさに丸まって眠っていました。悪路をどのともしないアウル号のおかげです。

別れは突然！  
(平成30年1月22日)

作手歴史民俗資料館で、湿原の打ち合せ会に向かう途中でした。前ぶれもなく突然エンジン不調。そしてエンジンストップ。山の中の峠をすぎたところで、電話もつながらず、救援の連絡がつかず、ずいぶん歩きました。

車屋さんの診察では、加齢のため、治療にいくらかかるかわからない。直してど別れのところが発症する可能性が大

とのこと。延命治療を断念するようになりました。走行距離115,342kmでした。



モモンガ発見！！  
(平成12年3月18日)

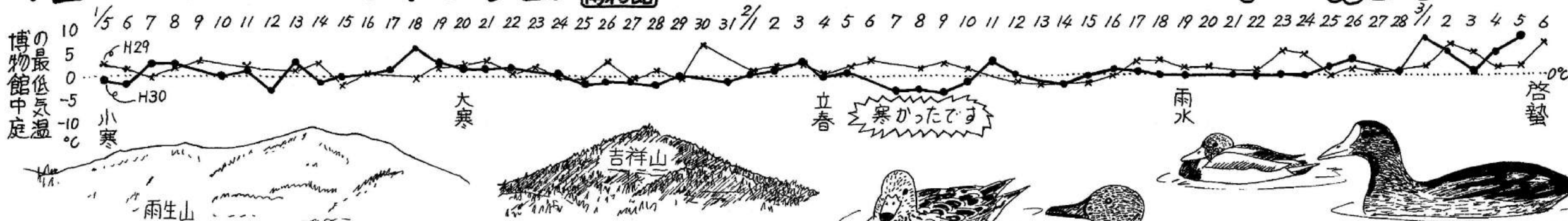
コハズクの復活を願って掛けた巣箱の利用状況調査に毎年でかけています。鳳来寺山一帯に掛けてある巣箱を調べるため、山の中までアウル号に乗っていきます。鳳来寺山の北側にある安城農林高校演習林内の巣箱には、鳳来町(当時)で未記録のモモンガがくらししていました。この地方での生息確認として初記録となりました。



# 春を待つ博物館



はつなだり No.196  
2018.2



## 野外学習会「吉祥山、雨生山の地質めぐり」(平成30年1月28日、くもり、28名参加)

中央構造線の外帯側にある2つの山をめぐる。吉祥山は、主に角閃岩からなっています。最初は海洋島を作った玄武岩や斑れい岩が、海底での変成作用を受けてできた岩石です。雨生山で見られる蛇紋岩は、マントルを構成しているカンラン岩が熱水によって変成を受けてきた岩石です。蛇紋岩地帯は、植物の生育が悪く、遠くからでもそれとわかります。

## ニホンカモシカ出没(平成30年1月14日)

博物館の裏山に毎日のように現れます。お客さんも近くで観察できて感激していました。これまでの経験で年老いた個体が里に出てくる事が多かったので、少し心配です。カモシカは日本固有種で特別天然記念物に指定されています。



## 大そうじ大会(平成29年12月24日)

16名の協力隊員が参加してくれました。大量の落ち葉、展示ケースのおこねなどをきれいにしていただきました。いつもありがとうございます。



## ジオガイド認定講座始まる

東三河ジオパークを目指す中で大切な働きをもらうジオガイドの認定講座が始まりました。養成講座修了者40名のうち、38名が受講されます。

- 第1回(平成29年12月16日)
  - ・オリエンテーション
  - ・講演:伊豆半島ジオガイド協会 佐野勇人氏
- 第2回(平成30年1月20日)
  - ・ワークショップ
- 第3回(平成30年2月24日)
  - ・豊川地域でのフィールド講座



## 野外学習会「桜淵公園の野鳥観察と冬越しの生きもの」(平成30年1月7日)

くもり空の中、25人が参加し、7目7科27種の鳥たちと会うことができました。今回も市の消防出初式と重なりましたが、ヘリコプターの飛来もなく、静かな観察会でした。桜淵の水面に浮かぶヒドリガモ、マガモ、オナガガモ、キンクロハジロなどのカモ類やオオバンなどが観察できました。



## ジオガイドとは何か?

伊豆半島ジオパーク  
ジオガイド 佐野勇人

## 出前授業・ガイドツアー

新城中学校1年82名、出前授業(理科)  
(平成30年1月23日、2月21日)  
庭野小学校5-6年生6名+2名ガイドツアー  
(2月28日)

## ゼツアソウ咲きはじめました(平成30年1月26日)

今年も咲いてくれました。博物館の中庭のかくれた名所です。寒かろうが雪が積ろうが節分の頃には咲きそいます。心が正されるような気持ちになる花です。

## 幻の冬の自然探検(平成30年2月3日)

宇連ダムを見おろす位置にある上臈岩の探検が天候不良で中止になりました。この日の下見もこわかったです。

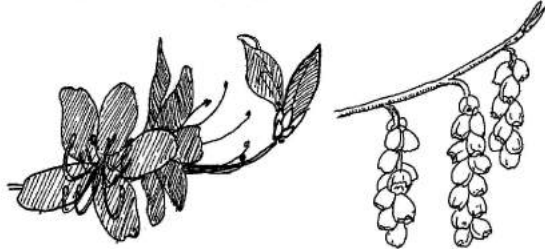
## 助人(車)来る(平成30年1月29日)

アウル号の突然の故障のあと、強力な助車が来てくれました。作手総合支所のジムニー君です。どんな場所にも行けそうな、たのしい車です。3月末までお世話になります。



# 春を迎えた博物館

はつかわり 10.197  
2018.4



3月19日、ミツバツツジ・キアソ咲く(門谷)

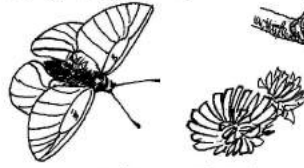
4月5日、ツシバ飛来(只待)



市の鳥コノハズク鳴きはじめ  
(平成30年4月8日、四谷)

千枚田のある四谷の大木の集落の上のあたりで、今年最初の鳴き声が確認(小山舜二さん)されました。鳳来寺山での鳴き声も期待されます。昨年はカラ沢方面で5月13日に聞いています。

4月10日、ウスバシロチョウ舞う(門谷)



4月8日、ヤマブキ咲く(双老勢)



4月23日、ツバメ飛来(門谷)



新年度行事案内発行  
(平成30年3月30日)

4月の校長会で紹介し、市内の全学校に届けました。

館報47号発行  
(平成30年3月30日)



野外学習会「新緑の乳岩・鬼岩」  
(平成30年4月29日、はれ、42名参加)

2グループに分かれての観察会でした。鬼岩までの健脚コースと乳岩の洞窟までのコースです。鬼岩はロッククライマーにとって人気のスポットで、ウラジロギボウシよりも岩壁にはりつく人が気になってしまいました。乳岩を目指すグループは、残雪でお昼になるほど、ゆっくり、じっくり植物の観察ができました。

## 東三河ジオパーク構想の取組み

- 3月23日 東三河ジオパーク構想推進準備会開催
- 3月24日 ジオガイド認定講座(新城地域)
- 3月30日 東三河ジオパーク構想PRポスター完成
- 4月13日 東三河ジオパーク構想について(新城ロータリークラブ講演)
- 4月21日 ジオガイド認定講座(豊橋地域)



恐竜の卵を食す?  
(平成30年4月8日)

長ノ山湿原整備作業  
(平成30年3月7日・18日)

今年の6月5日に作手地域で開催する湿地サミットに向けて、整備作業をしました。道路と朽ちてしまった柵の復旧作業です。杭を打ち直して、ロープを張り直しました。また、刈り終わったヨシなどを湿原から除いたり、一部区画の除草もおこないました。



鳳来寺山  
自然科学  
博物館

## コノハズク用巣箱調査 (平成30年3月4日)

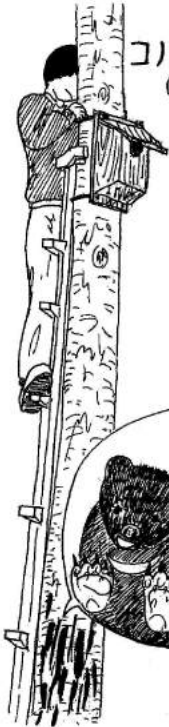
博物館協力隊と黄柳野高校グレートアースのメンバーで行ないました。

鳳来寺山の行者越方面、高德方面、カラ沢方面の3班で調査をしました。

ほとんどの巣箱はコケが運び込まれていて、カラ類が使っていたようです。

残念ながらコノハズクの利用はなかったようです。

カラ沢では、巣箱を掛けた木に、フマの爪のひっかき跡らしき傷が多数あり、ヒヤリとしました。



## 博物館学術委員総会・友の会総会開催 (平成30年4月15日)

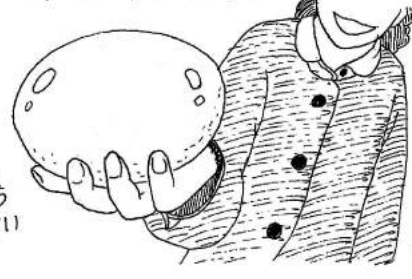
午前が学術委員総会、午後が友の会総会でした。学術委員には、新たに川瀬委員が加わりました。

友の会総会では、木村修司先生が「きのこの文化は食文化」と題した講演をしてくれました。

会員表彰(精励賞)

は澤田辰夫さん  
佐々木教江さん  
澤田和子さんでした。

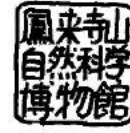
懇親会では、五平もちを手づくりして焼き、おいしくいただきました。





# 55歳の博物館

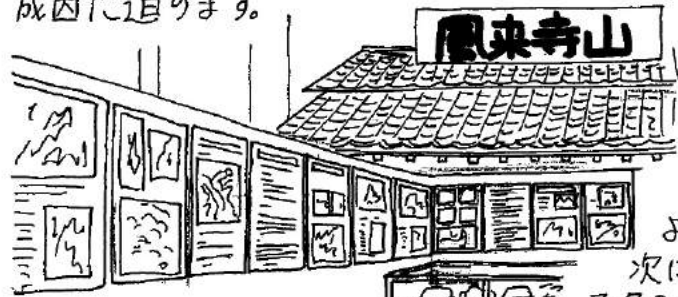
今年のテーマ「GoGo Museum = 55博物館」



はっぴなだり Vol.198  
2018.6

特別展「鳳来寺山」展(前編・後編)開催  
(前編:平成30年5月1日~6月30日、後編:7月1日~)

55周年を迎えた博物館の特別企画展として、鳳来寺山をとりあげました。博物館名にも使わせてもらっているこの山を2期に分けて紹介します。季節ごとの特徴ある動植物や、愛知県の名産にもなった松脂岩の成因に迫ります。



梅雨のきのこ観察会  
(平成30年6月24日)

前日からの雨も朝にはあがり、絶好の観察日和になりました。友の会員限定の観察会です。ドクツルタケ、ホオバニシロアミアシク子など、51種のきのこが観察できました。



後継車来る(平成30年3月26日)

アウル号(ミニキャブバン)との突然の別れから、約2ヶ月後のこの日、後継車がやってきました。カ-ゴ君です。4WDで機動力は初代に負けません。これに乗って博物館から外のフィールドへGoGoです。

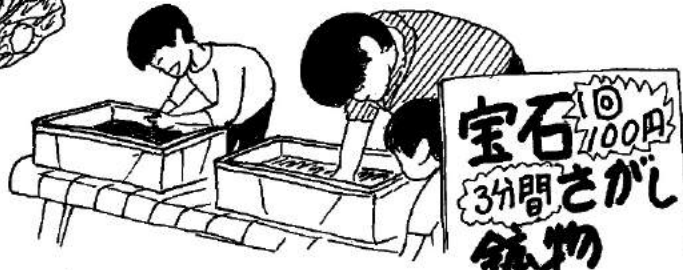


「仏法僧の声を聞く会」  
(平成30年5月26-27日)

仏坂峠では2羽が鳴き交わすようすを確認できました。宿泊組が次に向った鳳来寺山のカラ沢では、コハズク7の鳴き声は確認できませんでした。残念。

ミュージアムフェスティバル  
(平成30年5月3日~6日)

天候にめぐまれたフェスティバルでした。新東名開通直後の昨年には少し足りませんでしたが、博物館協力隊の皆さんと共に55周年の春の感謝祭をおこなうことができました。



第27回湿地サミット in 新城(平成30年6月5日、晴のち曇り、251名参加)

愛知県内の湿地、湿原を持つ自治体(13)が、保全・保護をテーマに毎年開催しています。今年は新城市が主催し、博物館が担当しました。午前は長ノ山、黒瀬庄ノ沢に関する講演と質疑、意見交換。午後は現地見学。県の天然記念物「長ノ山湿原」、保全と活用を積極的におこなっている黒瀬庄ノ沢緑地、清岳向山湿原、作手歴史民俗資料館をシャトルバスで巡ってもらいました。作手高原の中間湿原を知っていただくよい機会でした。

ジオツアー「設楽原の地形・地質と戦跡めぐり」  
(平成30年5月13日、雨、23名参加)

昨年も雨で流れた因縁のツアーです。長篠の戦いの決戦で設楽原で倒れた兵たちの涙雨でしょうか。今回は決行しました。雨の中、戦場となった設楽原の地形を観察。高位段丘の断上山、連吾川、大宮川の中央構造線露頭、中位と低位の段丘地形、設楽原歴史資料館の見学もしました。



新城市の花「ササユリ」咲く  
(平成30年6月1日、只持)

ヤマユリのような派手さはありませんが、清楚でやさしい香りのただようユリです。平成22年に新城市の花に選定されています。大切にしたい花です。

学校との連携

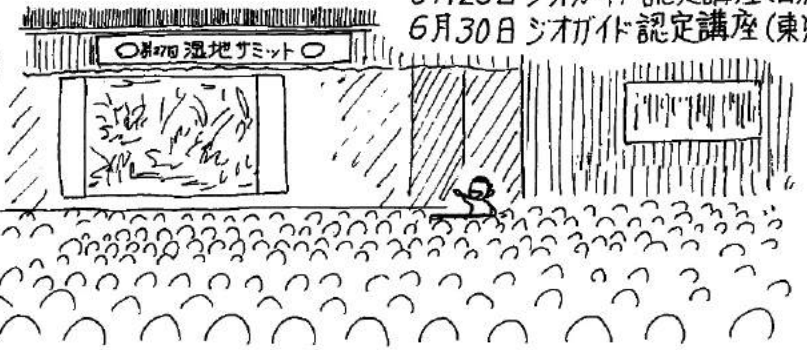
- 5月10-17-21日 黄柳野高校グレートアース(コハズク生息調査)
- 5月23-25日 職場体験(東郷中 林くん)
- 5月25日 豊橋南高校、千原中学総合学習
- 5月29日 西春中学展示見学
- 5月30日 作手中学1年、ガイドツアー
- 6月13日 職場体験(千原中 影目くん)

新城市共育の日(平成30年6月16日)

- 鳳来寺小学校「コハズク」講話
- 鳳来東小学校「乳岩」登山

東三河ジオパーク構想の取り組み

- 5月17日 推進準備会開催
- 5月26日 ジオガイド認定講座(田原)
- 6月30日 ジオガイド認定講座(東栄)





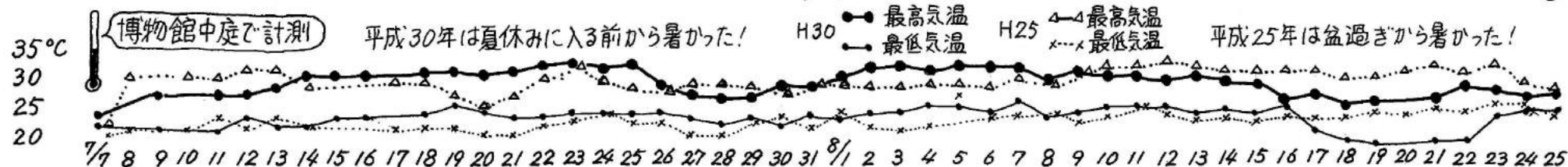
# 猛暑だってGo Go Museum



鳳来寺山  
自然科学  
博物館

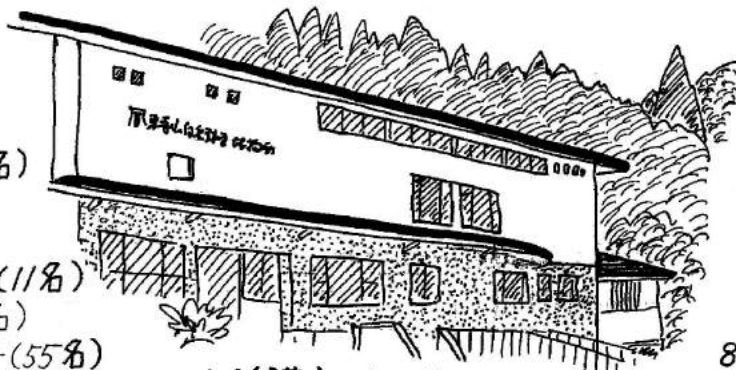
平成30年と25年の猛暑比較

はつなごり No.199  
2018.8



## 博物館見学・ガイドツアー

- 7月2日 鳳来寺小自然観察(11名+1名)
- 4日 知立市立来迎寺小5年生(117名+4名)
- 5日 鳳来東小3~4年生(13名+4名)
- 17日 舟着小ガイドツアー(28名+5名)
- 8月6日 四日市西部高校生物部ガイドツアー(11名)
- 15日 豊川ボーイスカウト ガイドツアー(11名)
- 18日 浜松学校生活共同組合 ガイドツアー(55名)



## 出前講座・ワークショップ

- 7月14日 八名小親子ふれあい教室
- 7月17日 JA愛知東文化講座  
・奥三河の大地の物語とジオパーク構想(40名)
- 8月9日 おもしろ実験教室(うさと館 265名)  
・砂の中の宝石さがし  
・本物の石はどれだ
- 8月18日 図書館まつり(新城図書館)  
・ストーンペイント(32名)

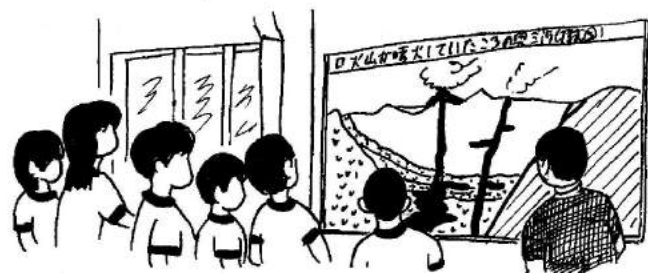
## 研修・実習・職場体験

- 7月26日 設楽地方理科教員研修(8名)
- 27-30-31日 職場体験(八名中2年生 松山君)
- 8月1-2-12日 社会体験型教員研修  
①新城高校教諭 ②豊橋西高校教諭
- 2日 新城市内理科教員研修(22名)
- 4~12日 学芸員実習(岡部君)
- 8月6日~10月5日 社会体験型教員研修  
・黄柳川小学校教諭
- 26日 名古屋市理科教員研修(22名)



タマアジサイ咲き始める  
(平成30年8月10日・門谷)

表参道沿いの日陰で咲きはじめました。フボミが球形をしているのでこの名がついています。紫色の花をたくさん咲かせます。その名のとおりのアジサイの仲間です。



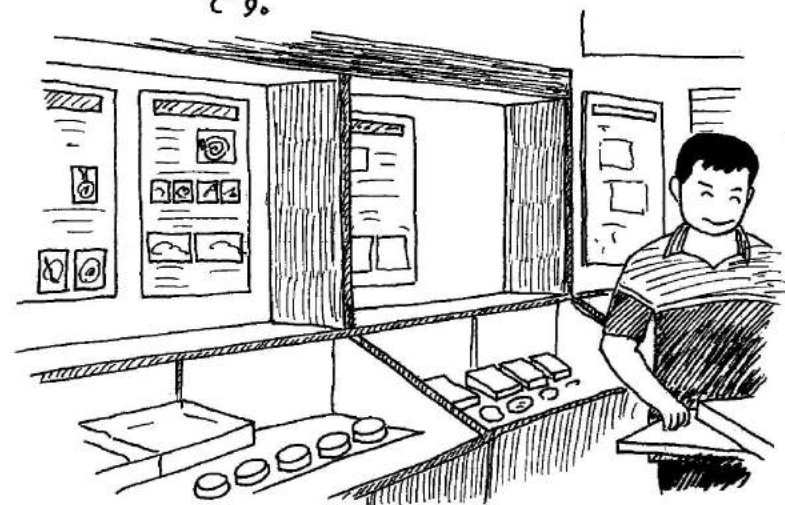
野外学習会「海老・谷川の生きもの」開催  
(平成30年8月5日、はれ、43名参加)

最高に暑い日でした。はじめに休耕地で昆虫採集。暑くて虫もいないかと思いましたが、ヤマアカネやアゲハチョウ、ハラヒシバツタなど17種を確認できました。次に川の生きもの観察。海老川の支流の谷川に入りました。アカザやネコギギ、カジカなど7種の魚類、9種の水生昆虫を確認しました。それらの生きものから、谷川の水質判定をすると、「きれいな水」となりました。



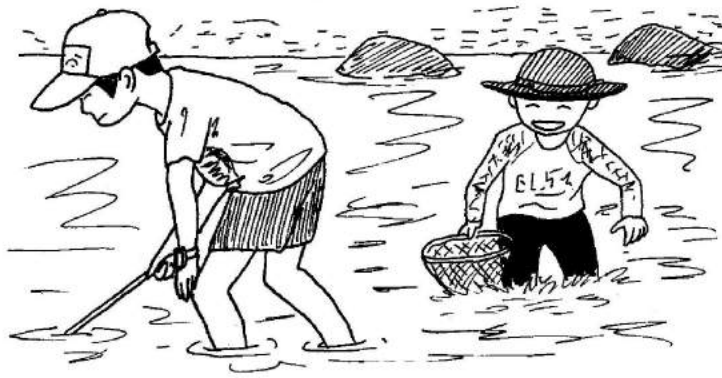
## 子ども&子どもにかえりたい大人の自然講座

- 7月22日 「魚を知ろう」(4名参加)
- 8月11日 「恐竜を学ぼう」(12名参加)
- 8月19日 「コケ玉を作ろう」(20名参加)



分類展示室貝類コーナー 展示改善  
(平成30年8月10日 開始)

展示館3階の貝類コーナーは、陸貝や淡水貝の他に、海の貝の展示をしていました。今回の展示改善では、鳳来寺山周辺の奥三河地方に生息する陸貝(カタツムリ)や淡水でくらす貝で展示することにしました。さらに、この地方で産出する貝化石と現生の貝を対比して見ることでできる展示もします。当館学術委員の川瀬先生が、この展示改善をしてくださいました。10月完成予定で進行中です。



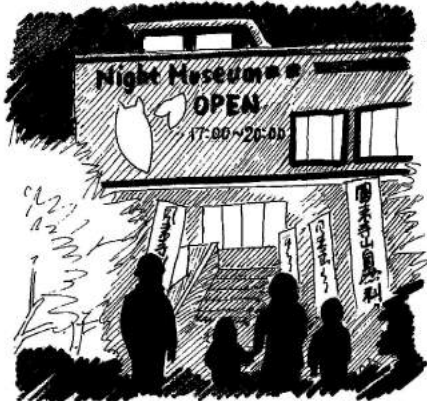
# おかげさまで200号



昭和63(1988)年4月創刊から30年

はなつかり 16.200  
2018.12

ミュージアムフェスティバル・ナイトミュージアム  
(平成30年11月17・23~25日)



今年は天候にもめぐまれ、大勢の人が来館してくれました。期間中、184人が楽しんでいかれました。

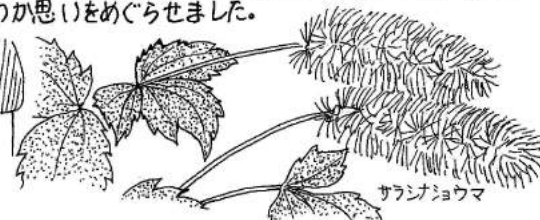


東三河のジオサイト展(平成30年11月3日~31年3月31日)

東三河8市町村の自慢のジオサイトを紹介しています。茶臼山、ポットホール、鉦山跡、中央構造線、本宮山、竹島、表次、伊良湖山甲等、地形・地質の見どころと、楽しみ方をわかりやすくパネルにまとめました。特別見学後には、ぜひ現地へおでかけください。

野外学習会「秋の設楽原〜里地・里山の植物〜」  
(平成30年11月4日、くものち雨、32名参加)

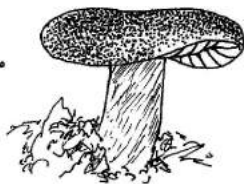
長篠の戦いで戦場がくりみづけられた設楽原を歩いての植物観察会でした。信長の本陣跡付近で咲いていたウラボシの白い花が印象的でした。この一帯の戦国時代の植生、景観かどんなだったのか思いをめぐらしました。



学芸員実習(平成30年10月10日~20日)

きのこ観察・きのこ展(平成30年9月16日~10月21日)

毎年恒例のきのこ展を開催しました。また、きのこ観察会も実施しました。  
9月22日 三河きのこ会観察会、12名参加。  
10月15日 黄柳野高校グレートアース「きのこ観察」23名参加。  
10月20日 碧南水族館「きのこ観察会」31名参加。



ニセクロハツ(猛毒)

ジオツアー「渥美半島先端部の地形と地質をたずねて」  
(平成30年11月10日、はれ、20名参加)

伊良湖山甲で見られる秩父帯、三波川帯の地質、地形を観察しました。さらに赤羽根の光岩(断層鏡肌)も見学しました。



日蓮の石門

ジオツアー「ピッチストーンとオパールを観察」  
(平成30年12月2日、はれ、17名参加)

鳳来寺山と棚山で、県石(新城市の石でもある)松脂岩(ピッチストーン)とオパールの観察をし、その成因について学びました。



オパール

ピッチストーン

愛知教育大学生の井上さんが実習にやってきました。博物館の日常業務や観察会などの行事を体験しました。最後にミュージアムショップの看板を自作し、実習を修了しました。おかげさまでした。



野外学習会「作手高原のきのこ」  
(平成30年10月14日、雨のちくもり)

32名の参加がありました。猛毒のカエンタケや、食用になるスッポンタケ、アマタケ、ヌメリイグチなどたくさんのきのこを観察できました。採集したきのこは分類し、その特徴などを講師 カエンタケから教わりました。



東海三県博物館協会研究交流会  
(平成30年10月19日、52名参加)

岐阜県高山市の博物館で開催されました。研修テーマのひとつが「小規模館だからこそできる取り組み」です。鳳来寺山自然科学博物館の55年間の活動について事例報告をしました。



飛騨高山まちの博物館

出前講座・見学ガイド

- 8月27日 豊橋東高校生見学ガイド 18名
- 9月20日 黄柳野小6年生8名、名大地球惑星科学2年生28名、ガイド
- 10月3日 豊根小学校生21名ガイド
- 10月19日 東三河連携講座 50名、鳳来寺小学校3年生12名、ガイド
- 10月26日 東郷中学校職業講話 76名
- 11月1日 鳳来寺小学校6年生、地層学習 11名
- 11月9日 鳳来寺小学校出前授業 10名
- 11月18日 親子ふれあい自然観察(長篠開発委員会) 42名
- 12月3日 鳳来寺小学校4年生、野外授業 13名
- 12月6日 黄柳野高校グレートアース 鉱物採集 18名